

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		特別支援教育支援事業		課名	学校教育課	事業No.	257
				会計	一般会計		
主要区分		主		記号	3	事業区分	政策
				計画等名称	10	実施区分	継続
戦略計画		主		“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む			
				個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる			
分野別計画		主		飯田市教育振興基本計画			
法令・例規等		主		学校教育法			
				障害者基本法			
				障害者差別解消法			
事業目的		対象	特別な支援を要する児童生徒				
		意図	学校での生活や学習活動が円滑且つ効果的に実施できるよう支援する				

2 事業内容

3年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を要する児童支援のため、特別支援教育支援員(生活・学習支援、介助支援)を計45名配置しました。</li> <li>・個に寄り添った学習を支援するため、ICT機器や支援に有効な教材等を整備し、活用につなげました。</li> <li>・新しい副学籍制度による交流活動を支援しました。</li> <li>・教職員の特別支援教育に関する専門性を高めるための研修会を計5回実施しました。</li> <li>・教育指導専門主査や教育相談員等による学校訪問を通じて、課題の共有や助言等を行いました。</li> <li>・各校での支援会議やスクリーニング会議に参加し、課題の共有と助言を行いました。</li> </ul>	講師謝礼	7
特別支援教育支援員報酬等		67,024	
特別支援学級等の消耗品費		3,094	
特別支援学級等備品費		499	
通級指導教室学校負担金		20	
外国籍児童生徒共生支援員報酬等		3,934	
日本語指導者報酬等		1,262	
筆耕翻訳料		372	
その他の経費		0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小学校特別支援教育支援員数	人	32	33						
	中学校特別支援教育支援員数	人	13	12						
	教育支援研修会開催数	回	5	5						
	外国籍児童生徒共生支援員配置数	人	5	5						
	副学籍による学習交流希望率(小学校)	%	70	71						
	副学籍による学習交流希望率(中学校)	%	40	52						

3年度決算(千円)	予算額	79,041	特定財源内訳及び補足事項							
	財源の状況	決算額	76,212	(国)外国人就学促進事業補助金(1/3)						
国庫支出金		411								
県支出金		0								
地方債		0								
その他		0								
	一般財源	75,801								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	12	2	3,176	2,927	特別支援教育支援事業費
2	1	10	3	2	12	2	1,142	1,065	特別支援教育支援事業費
3	1	10	2	2	1	3	56,138	54,679	会計年度任用職員人件費
4	1	10	3	2	1	3	18,585	17,541	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、特に自情障学級の在籍率や通級指導教室利用率が増加しています。通常学級における支援の必要な児童生徒も一定数(約6.8%)おり、うち医療的ケアの必要な児童も存在します。</li> <li>・障がいや外国籍などによる特別に支援の必要な児童生徒への合理的配慮の提供の充実を図る必要があります。</li> <li>・特別支援学級だけでなくすべての教職員に対して、特別支援教育に関する専門性を高める必要があります。</li> </ul>
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員の増加、医療的ケアの可能な支援員の配置が必要です。</li> <li>・ICT機器や支援に必要な教材を活用した個に寄り添った学習を支援します。</li> <li>・特別支援教育の研修会の対象者の見直し、専門機関と連携した支援が必要です。</li> </ul>
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員を増加し(医療的ケア支援員を含み47名)、学級担任との連携により個に寄り添った支援を行います。</li> <li>・特別支援学級に2台のipadの整備を進め、個に寄り添った学習を支援できるアプリを用いた学習を進めます。</li> <li>・専門機関と連携し、特別支援教育研修会の研修対象者や研修内容を検討し、実施します。</li> </ul>